

予算決算委員会建設分科会記録

1 日 時 令和6年12月13日（金曜日）

開 会	午前 9時58分
休 憩	午前10時03分
再 開	午前10時32分
休 憩	午前11時12分
再 開	午前11時26分
休 憩	午前11時32分
再 開	午後 0時08分
閉 会	午後 0時23分

2 場 所 第 4 委 員 会 室

3 出席委員 9人

分科会長	押 田 大 祐
分科会副会長	織 田 伸 一
委 員	大 島 満
//	谷 口 寿 一
//	成 田 光 雄
//	尾 上 一 彦
//	村 石 篤
//	金 厚 有 豊
//	柞 山 数 男

4 欠席委員 0人

5 説明のため出席した者

【消防局】

局長	河部 勝巳
局次長	石井 誠
参事（総務課長）	浦山 信之
参事（警防課長）	松井 孝博
予防課長	岸 隆志
通信指令課長	高稲 信治
総務課主幹（総務企画・調整担当）	草野 桂一

【上下水道局】

局長	酒井 正道
局次長	井村 孝志
局次長（技術担当）	山崎 明彦
参事（農林水産部次長）	五十嵐 健治
参事（建設部次長）	高尾 輝彦
参事（下水道担当）	五十嵐 進
経営企画課長	岸 聡之
契約出納課長	谷島 洋
料金課長	山下 達也
給排水サービス課長	新原 寛之
水道課長	帳山 誠志
下水道課長	井山 哲男
上下水道施設管理センター所長	安部 正雄
東上下水道サービスセンター所長	村田 友康
西上下水道サービスセンター所長	工藤 正美
流杉浄水場長	大場 角栄
浜黒崎浄化センター場長	竹島 寛文
水橋浄化センター所長	神代 浩
下水道課主幹（農村整備課長）	金田 英靖
下水道課主幹（河川整備課長）	沖村 一
経営企画課主幹（調整担当）	加藤 暁美

【建設部】

部長	狩野 雅人
部次長（上下水道局参事）	沼崎 益大
部次長（技術担当・上下水道局参事）	高尾 輝彦
土木事務所長	牧 雅浩
参事（道路整備担当）	山崎 晃
参事（道路河川管理担当）	山崎 哲志
参事（土木事務所建設担当）	坂井 義隆
参事（建設政策課長）	野上 一成
道路整備課長	高木 勝人
道路河川管理課長	経澤 陽一
河川整備課長	冲村 一
道路構造保全対策課長	杉木 光晴
公園緑地課長	樫尾 正樹
市営住宅課長	金田 紀和
営繕課長	小林 江里子
土木事務所管理課長	水野 央
土木事務所建設課長	村井 博昭
建設政策課主幹（調整担当）	北口 諭

【活力都市創造部】

部長	深山 隆
部次長	村井 真哉
部次長（技術担当）	金山 英樹
参事（建築指導担当）	佐藤 英子
参事（再開発担当）	高森 隆
参事（空き家政策担当）	守山 裕一
参事（交通政策課長）	高田 興真
都市計画課長	佐野 正典
景観政策課長	山本 貴章
建築指導課長	井川 清
富山駅周辺地区整備課長	塚本 義明
まちづくり推進課長	野村 知範
居住政策課長	高畑 亘
都市計画課主幹（調整担当）	大門 高史

6 職務のために出席した者

【議会事務局】

議事調査課長代理

酒井 優

議事調査課主任

江部 なな恵

議事調査課会計年度任用職員

溝口 弘美

7 会議の概要

分科会長 ただいまから、令和6年12月定例会の予算決算委員会建設分科会を開会いたします。

〔傍聴の申込み（3名）を許可〕

分科会長 審査に先立ち、分科会記録の署名委員に大島委員、谷口委員を指名いたします。
各案件の審査については、各部局単位とし、お手元に配付してあります審査順序のとおり行う予定であります。
なお、質疑については、議案に直接関係あるものだけにお願いいたします。
また、委員及び当局の皆さんに申し上げますが、質疑・答弁及び説明については、簡潔・明瞭に行っていただきますようお願いいたします。特に今日は傍聴者の方にもしっかり聞こえますよう、さらに簡潔・明瞭に、大きな声での発言をお願いいたします。
これより、消防局所管分の議案の審査を行います。
議案第181号 令和6年度富山市一般会計補正予算（第8号）、第1条歳入歳出予算の補正中、歳出第9款消防費
を議題といたします。
これより、当局の説明を求めます。

消防局長 〔挨拶〕

総務課長 〔議案説明資料（追加提出分）により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。
これより、議案第181号中消防局所管分の意見の

表明を行います。
意見の表明はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。
以上で、建設分科会消防局所管分を終了いたします。

午前 10 時 03 分 休憩

~~~~~

午前 10 時 32 分    再開

分科会長      これより、建設分科会上下水道局所管分の議案の審査を行います。  
議案第 165 号    令和 6 年度富山市水道事業会計補正予算（第 1 号）、  
議案第 166 号    令和 6 年度富山市公共下水道事業会計補正予算（第 2 号）、  
議案第 187 号    令和 6 年度富山市水道事業会計補正予算（第 2 号）、  
以上 3 件を一括議題といたします。  
これより、順次、当局の説明を求めます。

上下水道局長    〔挨拶〕

経営企画課長    〔議案第 165 号中  
令和 6 年能登半島地震に係る応急復旧費用（能登町における応援活動分）について、  
議案説明資料により説明〕

水道課長        〔議案第 165 号中  
継続費の変更及び債務負担行為の設定について、  
議案説明資料により説明〕

下水道課長      〔議案第 166 号について、  
議案説明資料により説明〕

経営企画課長    〔議案第 187 号について、

議案書（追加提出分）により説明〕

- 分科会長      これより、質疑に入ります。  
質疑はございませんか。
- 柞山委員      議案説明資料２ページから５ページについて、婦中地域にあります田島川、祖母川の水管橋設置工事を行うということで、ちょっと聞き漏らしたのかもしれませんが、現在、水道管が橋に附帯して設置されているのですか。橋を再整備するに当たり、水道管を設置し直さなければいけないということですか。
- 水道課長      祖母川及び田島川につきましては、古沢幹線の老朽化に伴う布設替えを行うため、水管橋として整備を進めることとしております。
- 柞山委員      老朽化に伴う布設替えのための架設だと理解しました。  
先ほど、入札不調が２度あって工事期間を３か年に延長するという説明がありました。また、資材高騰の話もあったのですが、それは当初から予期されていたのではないかと。資材調達に時間がかかるため工期を延長するということですが、水管橋設置工事を行うに当たり土壌のボーリング調査を実施されたのかは分かりませんけれども、私からしたら、もう少し早い段階から状況を掌握できたのではないかとと思うのです。どのような経緯があったのか、もう少し詳しく説明していただけますか。
- 水道課長      田島川及び祖母川の水管橋設置工事に係る入札の不調がともに２回あった経緯について御説明させていただきます。  
１回目の入札が不調となった後、入札の公告期間中に設計内容の問合せを受けていた業者に対しまして、入札できなかった理由について聞き取りをさせていただきました。その中で、業者の見積額と予定価格に乖離があったこと、水管橋や基礎部分の鋼管のくいなどといった主要部材の原材料の調達・製作にか

かる日数と市が設定した工期に差が生じていたこと、基礎工において市が選定した工法に疑義があったことの3つの理由を示されました。

その後、2回目の入札を行う前に、業者から疑義があった内容について精査した結果、現場状況を照らし合わせても設計内容は適正だという判断ができたことから、同様の内容で2回目の入札を行ったのですが、再度不調となりました。

改めて業者に対し入札できなかった理由を確認したところ、1回目でお聞きした3点と同じ理由を述べられました。

この工事はぜひとも実施したい工事であることから、今後、3回目の入札を行うに当たり、設計書の内容を再度精査しました。また、主要部材となる水管橋のアーチ状のステンレス鋼管や基礎部分に使用する直径40センチメートルほどの鋼管のくいなどの原材料の調達・製造を行うメーカーに聞き取りを行い、現場の土質データをお示した上で、工法や、原材料の調達から現場への納品までに必要な日数についても改めて確認いたしました。

その中で、当初、約1年ほど前に発注を予定していたタイミングから現在までの間で、原材料の調達にさらに時間を要することが分かったことから、当初は2か年としていた工事期間を3か年に変更することとしたものです。

柞山委員

詳しく説明いただいてありがとうございました。大変御苦労されているなと思う一方、やっぱり事前の情報収集が少しあってもよかったのかなとも思います。3度目はしっかり対応していただきたいと思っています。

関連して、このような工事を行える業者は年々減少傾向にあると思います。業者の数が多ければいいということでもありませんし、工法によっていろいろと特殊なこともあるかと思いますが、業者数の減少による影響はないのですか。

水道課長

今回入札不調となりました祖母川及び田島川の水管



橋設置工事につきましては、業種区分土木の工事として発注させてもらっております。

ただ、関連して配水管の整備も含まれることから、土木及び水道管の2つの業種区分について、最近の市内工事業者数の推移を確認いたしました。

まず、業種区分土木につきましては、令和元年度は316者であったところ令和6年度は298者で18者減、また、業種区分水道管につきましては、令和元年度は64者であったところ令和6年度は54者で10者減となっております。

ともに業者数は減少しておりますが、今回入札不調となったことに関して聞き取った内容につきましては今ほど御説明させてもらったとおりで、業者数の減少との直接の結びつきは薄いのではないかと考えております。

柞山委員

ありがとうございました。発注する際には、やはり業者との事前の情報交換も必要ではないかと感じます。

物価高騰の折ですし、価格の上がり具合や、あるいは資材も進化していますから、そのような情報をお互いに交換しながら一せっかく発注しても受け手がないということはどこかでそこがあるのですから、そうならないように進めていただきたいと思います。

村石委員

議案説明資料1ページの令和6年能登半島地震に係る応急復旧費用（能登町における応援活動分）について、何点か伺います。

（3）応急復旧活動の内容のうち派遣者について、先ほどの経営企画課長の説明では、富山市職員が2名、富山市管工事協同組合加盟事業者から6名ということでした。そうすると、富山市職員については2名が45日間派遣されたと。

一方、参考として記載されている七尾市における応援活動については、令和6年2月から3月にかけての55日間で1日当たり3人—ただ単に数字を割ったら3人になったので—の職員が派遣されているの

ですけれども、派遣された職員はどのような部署に所属していたのかお聞かせください。

上下水道局次長  
(技術担当)

令和6年能登半島地震に係る応急復旧活動につきましては、水道配水管及びお客様につなぐ給水管の漏水箇所の特定作業と修繕作業までを同時に行うという非常に専門性が高い技術力を要する作業の要請を受けて実施したものです。上下水道局の職員の中でこれらに対応できる経験を有する職員が所属しているのは水道課、給排水サービス課、上下水道施設管理センター、東上下水道サービスセンター、西上下水道サービスセンターで、これらの所属から職員を派遣しています。

委員がおっしゃったように2名の職員を45日間連続で派遣しているわけではなくて、あまり負担にならないように分散させて派遣していることから、派遣元の所属が多くなっているということです。

村石委員

今ほどの説明では、あまり負担にならないように5つの所属で対応したということだったのですけれども、一方で、富山市内で被災した下水道施設の復旧にも対応しなければいけないということで、通常の業務に影響がなかったのかお聞かせください。

上下水道局次長  
(技術担当)

先ほど言ったように応急復旧活動は水道に関する業務でしたので水道に関する専門知識がある職員を派遣しておりましたし、当然、下水道は下水道の専門職員が対応するということを前提に、今回の応急復旧活動に係る体制につきましては、各所属からの派遣は1か月当たり1回かつ5日間としてローテーションさせておりました。

また、派遣に伴う不在期間中の業務が停滞しないようにすることや、事前に業務を処理しておいていただくこともあるので、1か月前には派遣する職員を決定して、所属長以下の了解をいただいて準備をしています。

さらには、先ほども言いましたように、現場での作業員として富山市管工事協同組合加盟事業者から1

班当たり6名の派遣に協力いただいていることから、通常業務に影響がないように配慮した形になっております。

しかしながら、水道課では令和6年4月の超過勤務実績が前年度比で11%余り増えていたことも事実でございますし、派遣に協力していただいた事業者は当然富山市内での水道工事を受注していらっしゃるので、その間工事が止まることによって工事期間の延長が発生したこともあり、事業全体に関する進捗には少なからず影響があったと考えています。

通常業務には影響がないように配慮したものの、事業全体には少なからず影響があったかと思っておりますが、このような活動は、いずれ富山市が被災した際に応援を受ける側の立場になったときのことを考えると、今回被災された事業体あるいは他の事業体の方々との信頼関係をつくるという意味では非常に大事な活動で、最も大事と言ってもいいぐらいの位置づけとさせていただいておりますので、これからは職員の負担に十分に配慮しながら、派遣対応を行っていきたいと考えています。

村石委員

最後の言葉は本当に重く受け止めます。お互いさまというか、困っている自治体に支援に行く、一方で私たちが困ったときに支援してもらおうと。信頼関係が本当に大事だろうと思います。

そこで、派遣先での応急復旧活動については、今年6月に報告会を開催して、いろいろな意見を出し合ったと聞いています。

能登半島地震の支援に対する教訓を今後に生かし、いずれ自分たちが災害に遭ったときに、支援に来てくださる方にスムーズに活動していただけるような体制を組むことも必要だと思います。

そういった意味で、報告会での意見と今後の教訓にすべき内容について、主なもので結構なのでお聞かせください。

分科会長

その質問は議案に直接関係ないので、建設委員会のその他の質問の際にまた聞いていただきたいと思います。

ます。

（「了解です」と発言する者あり）

分科会長      ほかに議案の質疑はございませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長      ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第165号、議案第166号、議案第187号、以上3件を一括して意見の表明を行います。  
意見の表明はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長      意見の表明なしと認めます。  
以上で、建設分科会上下水道局所管分を終了いたします。

午前11時12分    休憩

~~~~~

午前11時26分 再開

分科会長 これより、建設分科会建設部所管分の議案の審査を行います。
議案第162号 令和6年度富山市一般会計補正予算（第7号）、第3条債務負担行為の補正中、建設部所管分、
議案第181号 令和6年度富山市一般会計補正予算（第8号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳出第8款土木費中、建設部所管分、
以上2件を一括議題といたします。
これより、順次、当局の説明を求めます。

建設部長 〔挨拶〕

建設部次長 〔議案第１６２号中
債務負担行為補正について、
議案説明資料により説明〕

公園緑地課長 〔議案第１６２号中
公園整備事業費の債務負担行為の設定について、
議案説明資料により説明〕

建設部次長 〔議案第１８１号について、
議案説明資料（追加提出分）により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結
いたします。
これより、議案第１６２号中建設部所管分、議案第
１８１号中建設部所管分、以上２件を一括して意見
の表明を行います。
意見の表明はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。
以上で、建設分科会建設部所管分を終了いたします。

午前１１時３２分 休憩

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

午後 ０時０８分 再開

分科会長 これより、建設分科会活力都市創造部所管分の議案
の審査を行います。
議案第１６２号 令和６年度富山市一般会計補正予
算（第７号）、第１条歳入歳出予算の補正中、歳出
第８款土木費、
議案第１８１号 令和６年度富山市一般会計補正予

算（第8号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳出第8款土木費中、活力都市創造部所管分、以上2件を一括議題といたします。
これより、順次、当局の説明を求めます。

活力都市創造部長 〔挨拶〕

活力都市創造部次長 〔議案第162号中
活力都市創造部所管分の概要について、
議案説明資料により説明〕

交通政策課長 〔議案第162号中
自転車駐車場管理運営事業について、
地域自主運行バス運送法変更事業について、
議案説明資料により説明〕

活力都市創造部次長 〔議案第181号中
活力都市創造部所管分の概要について、
人件費補正について、
議案説明資料（追加提出分）により説明〕

交通政策課長 〔議案第181号中
公共交通燃料価格高騰対策支援事業（国の追加補正）について、
議案説明資料（追加提出分）により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はございませんか。

村石委員 議案説明資料3ページの地域自主運行バス運送法変更事業について、何点か伺います。
今回、緑ナンバーから白ナンバーに変更するという
ことですが、自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）ハンドブックを見てみますと、できるだけ一般乗合旅客自動車運送の活用を検討するよう
ということで、いろいろな理由がある場合には自家用有償旅客運送を活用するとされています。
緑ナンバーのまま運行を継続するような努力はされ

たのでしょうか。

交通政策課長 地域自主運行バスは地域が事業主体となり運営を行っている事業であり、各地域はこれまでの運行事業者への継続的な運行を依頼されるとともに、他の交通事業者への働きかけを行ったと伺っております。

村石委員 それでも引き受けてくれる事業者がなかったということで、新たに自家用有償旅客運送の登録が必要になったと。この登録の流れについてお聞かせください。

交通政策課長 まずは本市が事務局を務めております富山市交通空白輸送地域公共交通会議において協議を整えて、運行主体である各地域が本市へ登録申請を行い、本市が登録証を発行することになります。

村石委員 富山市に登録申請することは分かりましたけれども、バスの運転者の資格について、どのような方なら運転できるのか、要件があれば教えていただきたいと思います。

交通政策課長 国土交通省が指定した機関において大臣認定講習を受講された方がドライバー業務を担うことになります。

村石委員 講習を受けた人がドライバーになることが分かりました。
最後に（３）イの車両の購入について、水橋、上条、堀川南地域で使用する車両を購入するということですが、３台で２１４万８，０００円はどう考えても安いのですけれども、安い理由が何かあるのでしょうか。

交通政策課長 これまで交通事業者からリースしていたものをそのまま引き取れば、この価格で購入できるということです。

村石委員 通常の中古車を買うよりもずっと安いということですか。

交通政策課長 リース業者に見積りを取りますと、半年で1台180万円とのことです。
10年経過した中古車の市場価格を調べますと大体300万円ぐらいするので、かなりお得な値段かと思っています。

柞山委員 地域自主運行バスについて、現在は交通事業者への委託による方法で運行していると思うのですが、地元の自主運行団体による方法に切り替えることになると、新たな経費が発生すると思うのです。新たに発生する経費にはどのようなものがあるのですか。

交通政策課長 地域でドライバー業務を担うことになると、バスの配車計画や運転手のアルコールチェックなどのいろいろな業務が必要になりますので、新たな事務所の開設や担当者の雇用にかかる経費が必要になると想定しています。

柞山委員 これまでも各地域で自主運行されていましたが、今回の変更により新たに費用負担が発生するものはあるのですか。

交通政策課長 新たにかかる費用としましては、今ほど申しました事務所の経費などが発生することになります。

柞山委員 今まで自治会で相当のお金を集めていましたが、今後このような方法で運行すると自治会費を増やさなければいけないということもあって、地域の方にとっては少し負担がかさむことになります。それをただ決まりにのっとして負担すればいいのか、あるいは、地域公共交通としての福祉的な側面から見たら、もう少しどこかでカバーすべきではないかと。活力都市創造部だけの問題ではありませんが、今後の課題として捉えていただきたいと思います。これは要望です。

大島委員 議案説明資料２ページの自転車駐車場管理運営事業について教えてください。
東富山駅第３自転車駐車場の既設部分の所有者は誰でしょうか。また、第３自転車駐車場を拡張することですが、何台くらいの需要があるのか、本当に拡張が必要なのかをお聞かせいただけますか。

交通政策課長 まず、第３自転車駐車場の土地は、あいの風とやま鉄道の所有になります。
収容台数は第１自転車駐車場が１２０台、第２自転車駐車場が３２２台、第３自転車駐車場が１８０台で合計６２２台です。これに対しまして、現在の利用台数としましては約２００台となっております。
このことにつきましては、東口改札が令和３年に供用開始されたことに伴い駅の東側に駐輪場を２か所設置したことにより、利用が分散したものと考えております。
今後は第３自転車駐車場の既設部分の１８０台分だけが残るのですが、現状で約２００台の利用があるので、４０台分を拡張して、収容台数は２２０台となります。

大島委員 あいの風とやま鉄道とは、土地の賃貸借契約を結んでいるのでしょうか。

交通政策課長 既設の部分については賃貸になっています。拡張分については、無償ということでお話ししております。

分科会長 ほかにございませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。
これより、議案第１６２号中活力都市創造部所管分、議案第１８１号中活力都市創造部所管分、以上２件を一括して意見の表明を行います。
意見の表明はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。
以上で、建設分科会活力都市創造部所管分を終了いたします。
これで、１２月定例会の当分科会に送付されました全議案の審査は終了いたしました。
委員各位に御相談申し上げます。
分科会長報告については、正・副分科会長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 それでは、そのように取り計らいます。
これをもって、令和６年１２月定例会の予算決算委員会建設分科会を閉会いたします。

令和6年12月定例会
予算決算委員会建設分科会記録署名

分科会長 押 田 大 祐

署名委員 大 島 満

署名委員 谷 口 寿 一